

## クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2022年4月14日

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～13号【シンガポールドル建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号【円建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号運用状況につきまして

投資家の皆様におかれましては、平素より格別のお引立てを賜りまことにありがとうございます。

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンドシリーズ(以下、「本ファンドシリーズ」といいます。)については半年ごとに運用状況の定期報告を行っていますが、それとは別に、ご報告すべき事象がありましたので臨時報告書をご送付申し上げます。なお、次回の定期運用報告は2022年6月期を予定しています。

## 本レポートの要旨

- 本ファンドシリーズでは債務再編を実施済です。後掲する【債務再編の概要】をご覧ください。
- 本営業者グループ会社（後述）はかかる債務再編を通して本件債務者たるU社（後述）の株式を取得しました。その株式の段階的な売却等で資金回収を図る前提でモニタリングを続けています。
- 2022年3月期において、U社は資金繰りを安定させるために、同社株主たる投資家A（後述）から2022年12月末満期の株式転換ローンの借入を行いました。その結果、分配予定時期および見込み回収率に変更が生じますので、本報告書でお知らせします。
- 従前は分配予定時期を2023年および2024年としていたところ、2024年および2025年へ変更となりました。また、直近の為替レートをふまえた最終的な回収率が元本比（SGDベース）で約38.3%~74.3%となりました。

## 【本ファンドの運用状況(通貨シリーズ毎)】

通貨シリーズ	出資金残高(円)	運用残高 <sup>1</sup>
円建て	64,328,817	62,004,457円
USD建て	308,444,949	USD 2,550,768.53
SGD建て	29,475,131	SGD 350,287.92

<sup>1</sup> 本営業者（後述）から本営業者グループ会社（後述）に対する貸付債権の元本額

### 【当初の投資スキーム概要】

- クラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます。）は、投資家の皆様からお預かりした出資金を、Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます。）に対して貸付けました。この貸付は、シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド 1 号～13 号においては米ドル（USD）建てで、他の各ファンドにおいてはファンド名に記載の通貨建てで行いました。
- 本営業者グループ会社は、その借入金を原資として次の 2 つの案件を行いました。
  - ① シンガポールに本社を持ち広告代理業を営むベンチャー企業である BONSEY JADEN PTE. LTD.（以下、「U社」といいます。）への貸付
  - ② 【USD 建て】 1 号～10 号、【シンガポールドル建て】 1 号～3 号、【円建て】 1 号～3 号につきましては、Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介した、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC が取り扱う個人向けローン債権の購入

今回のご報告対象は、上記 2 点のうち案件①です。

### 【U社の資金調達について】

本営業者グループ会社は U 社株主として、U 社の取締役会へ傍聴参加者を出しています。

その中で U 社より「運転資金を補強するために投資家 A から株式転換条件付きローン（以下、「投資家 A ローン」といいます。）の借入を行いたい」旨の、本営業者グループ会社を含む U 社の株主に向けた提案がありました。その背景は下記のとおりです。

- U 社は足元において売掛金を予定通りに回収できているものの、運転資金に十分な余裕がないために、一部の買掛金の支払期間を猶予してもらっていること
- U 社の運転資金とすべく地場銀行の与信獲得を目指してきたが、U 社グループ全体の黒字化を与信条件として提示されたため、業績を踏まえると当面は手配が難しいと明らかになったこと
- そのような中で投資家 A から、株式転換条件付きであれば融資が可能であるとの提案を受けたこと

投資家 A ローンの返済期限は 2022 年末です。また、投資家 A が当該ローンを実行するにあたり、U 社および投資家 A が U 社の既存株主へ求めた条件は下記のとおりです。

- 投資家 A が U 社既存株主から U 社株式を買取る時期を、1 年ずつ延期すること
- さらに、U 社の業績および投資家 A ローンの返済状況に応じて、次の（ア）または（イ）を実施するために U 社が新規株式を発行する可能性があること
  - （ア）U 社経営者・社員のインセンティブとしてストックオプションを発行すること
  - （イ）投資家 A が投資家 A ローンの残高（元本および経過利息）を株式へ転換すること

上記 2 点目の（ア）または（イ）によって、本営業者グループ会社の U 社株式持ち分比率が現状の 12.0%

から希薄化し、最も悲観的なシナリオで 10%台まで低下する見込みです。しかしながら本営業者グループ会社は、(1) U 社が現在の資金繰りを安定させなければ事業の継続が困難だと見込まれること、および、(2) 地場銀行による与信が見込めない中で、U 社が投資家 A ローン以外に資金調達手段を見つけることが現実的でないことを踏まえて、他の U 社既存株主とともに上記の各条件を受け入れました。

投資家 A ローンは 2022 年 3 月 17 日において実行済みです。

### 【U 社の資金調達条件が分配時期・回収率へ及ぼす影響について】

本ファンドシリーズの分配予定時期および予定回収率をそれぞれ下表のとおりに変更します。予定回収率は為替レートの変動に応じて増減し、下記は 2022 年 3 月期時点の為替レートで計算したものです。

	投資家 A ローン実行前	投資家 A ローン実行後
分配予定時期	2023 年および 2024 年	2024 年および 2025 年
予定回収率（下限 <sup>2</sup> ～上限 <sup>3</sup> ）	38.3%～78.3%	38.3%～74.3%

なお、分配予定時期は、下記【債務再編の概要】③にも補記しております。

### 【債務再編の概要（過去にご報告済の内容）】

2020 年において、上記【当初の投資スキーム概要】2 のうち案件①について債務再編を実施しました。本営業者グループ会社は、資金需要者たる U 社、U 社の既存株主および U 社の新規投資家 A（以下、「投資家 A」といいます。）との間で 2020 年 11 月 18 日に株式割当契約書ならびに 2020 年 12 月 15 日に債務再編契約書および株主間契約書を締結しました<sup>4</sup>。それら契約書の規定する主な内容は次のとおりです。

- ① （完了）投資家 A からの出資を受けた U 社は、本営業者グループ会社からの融資の一部 SGD 3,000,000 を本営業者グループ会社に即時返済すること
- ② （完了）本営業者グループ会社が、①の SGD3,000,000 を除く U 社への債権を放棄し、その代償として U 社の株式を取得すること（債権と株式の交換を行うこと）
- ③ 投資家 A が U 社に対して課す 2022 年と 2023 年の条件（※<sup>5</sup>）を満たす場合には、本営業者グループ

<sup>2</sup> 本営業者グループ会社の保有株式売却がかなわないか U 社の清算等で同株式が無価値となり、2020 年 12 月期に回収済みの SGD 3,000,000 以外の回収がない場合

<sup>3</sup> U 社の条件（※）達成により最大額で投資家 A に株式を売却する場合。さらに、投資家 A ローン実行後においては本営業者グループ会社保有株式の希薄化が少なく済む場合。

<sup>4</sup> 2020 年 12 月 25 日付報告書

<sup>5</sup> U 社の年間 EBITDA および純利益基準がそれぞれ特定の水準を達成すること。ここで、EBITDA = earnings before interest, tax, depreciation, and amortization の略で、国によって異なる税率、利率、償却率等の影響を取り除いて企業の収益性を比較することを可能にするために、税引前利益に支払利息と

プ会社は 2023 年中と 2024 年中の 2 回に分けて投資家 A へ U 社株式を売却できること（補足：本報告書でご案内のとおり、投資家 A による U 社株式買取時期は 2024 年および 2025 年へと 1 年ずつ延期され、それに伴って U 社の条件達成是非判定時期も 2023 年および 2024 年へと順延されました）

- ④ または、投資家 A もしくは投資家 A の持ち株会社が特定の公開株式市場に上場する場合には、本営業者グループ会社が保有する U 社株式を投資家 A もしくは投資家 A の持ち株会社の発行する株式と交換すること。

今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住 所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、本営業者グループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2020年12月末現在・単位：千円)	1,000	15,432,291	15,448,532	△ 16,240	2,003,020	30	297	222
Crowdcredit Estonia OÜ (2020年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	111,679,233	111,003,700	675,533	15,131,472	△ 240,808	△ 19,557	△ 19,557
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2020年12月末現在・単位：千円)	50,000	18,266,444	17,684,197	582,247	2,146,798	△ 434,008	△ 403,537	△ 455,279

※会計期間(2020年1月1日から2020年12月31日まで)の金額を記載しております。

減価償却費を足し戻して算出する利益